

市の情報発信に関するアンケート

集計結果

アンケート概要

■ 目的

本市では、広報いせさきをはじめ、ホームページ、SNSなどを通じて、市民へ市政情報を届けています。市の情報発信に関する市民ニーズなどを把握し、より効果的な情報発信を行うための参考とします。

■ 実施期間

令和4年8月16日（火）から9月11日（日）まで

■ 実施方法

回答用紙・専用ホームページ

■ 対象

市内に在住または在勤・在学の人

■ 回答者数

1,497人

■ 有効回答数

1,496件

※必須回答項目の「年齢」「職業」が未回答の場合は、当該回答者の回答を全て無効として取り扱っています

■ 備考

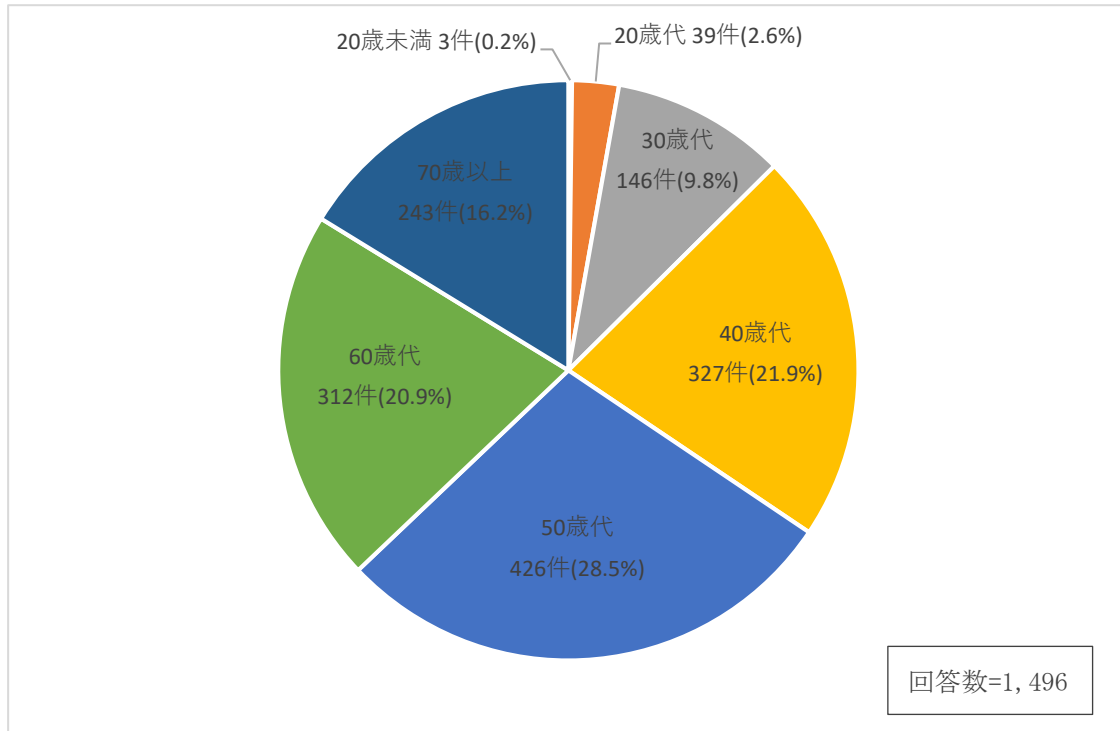
- ・定められた回答上限数を超える回答があった質問事項においては、無効として取り扱っています
- ・自由記述は、意見を要約して掲載します。また、本アンケートの主旨に関係のない記述は掲載していません

パーセンテージの取り扱いについて

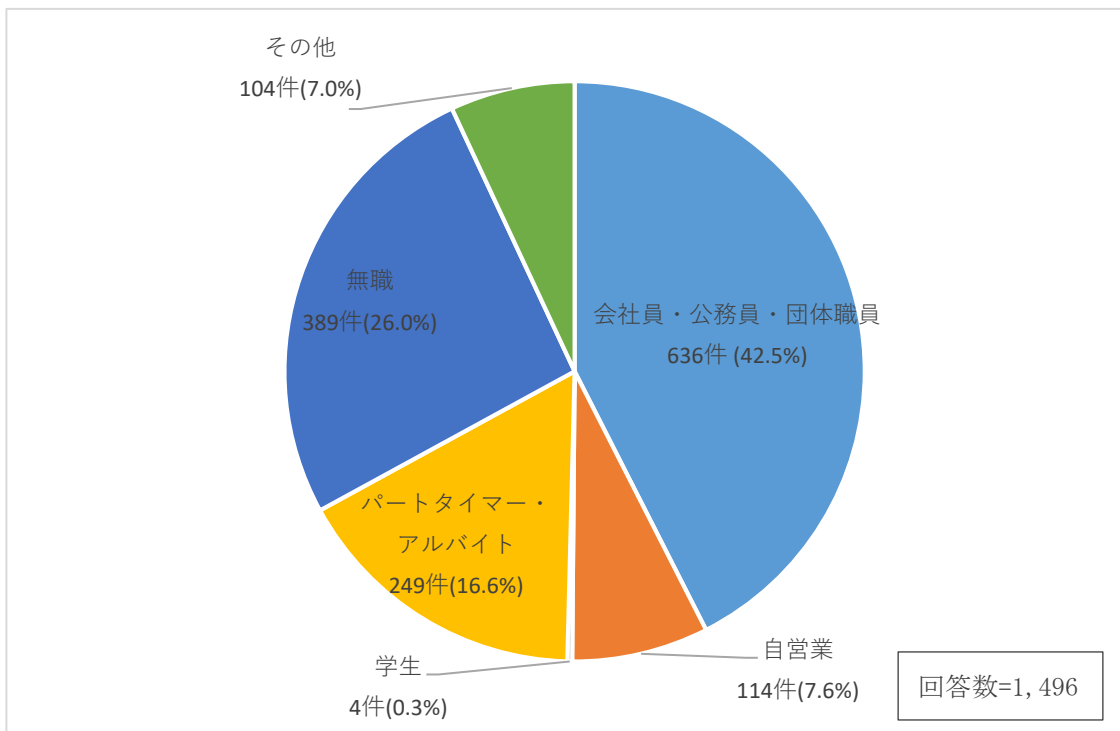
- ・すべてのグラフにおいて少数第2位を四捨五入して算出しています
※円グラフにおいて回答項目の合計が100%にならない場合があります
- ・複数回答式の結果として表示しているパーセンテージについては有効回答数（1,496人）を元の値として算出しています
- ・Q7-1は有効回答数（1,496人）から未回答（9人）及び無効（5人）を差し引いた値（1,482人）を元の値として算出しています
- ・Q7-2はQ7-1で1～3を選択した人数（1,351人）から未回答（13人）及び無効（3人）を差し引いた値（1,335人）を元の値として算出しています
- ・Q7-4はQ7-1で4・5を選択した人数（131人）を元の値として算出しています
- ・Q8は有効回答数（1,496人）から未回答（42人）を差し引いた値（1,454人）を元の値として算出しています

回答者の属性

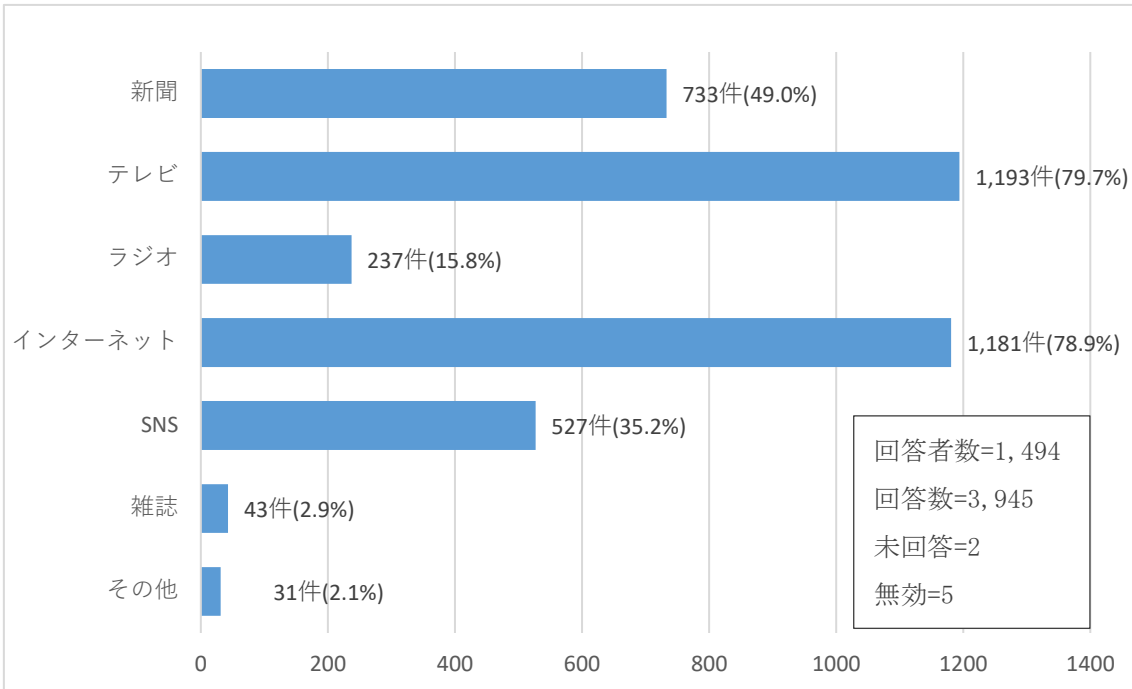
Q 1 年齢を教えてください



Q 2 職業を教えてください



Q3 日常生活に関する様々な情報を主に何から入手していますか（3つまで回答）

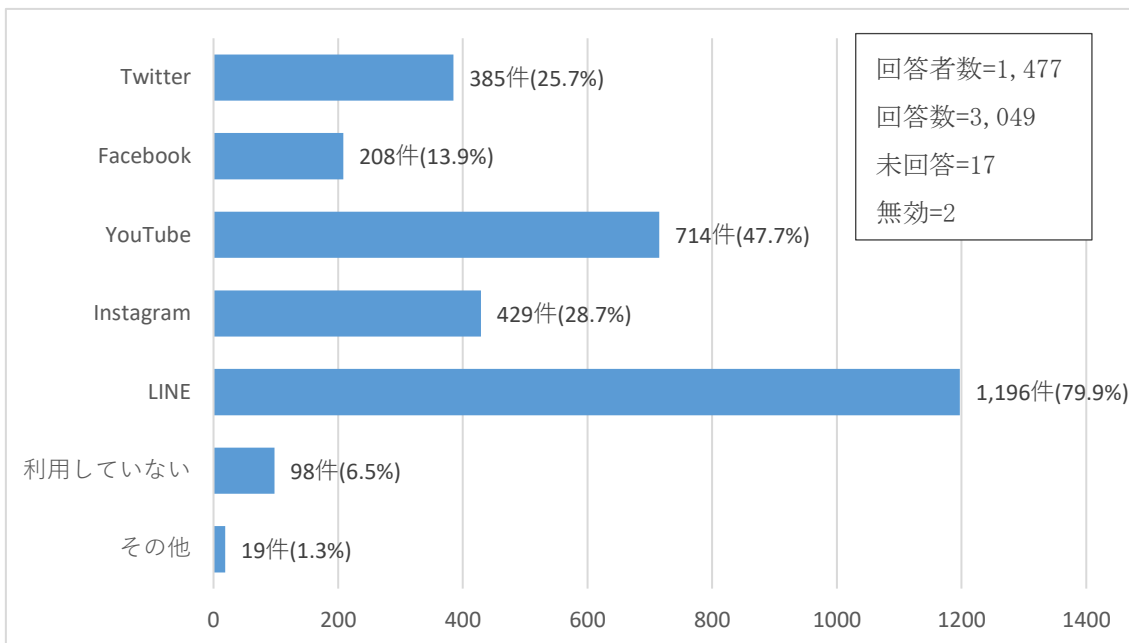


●日常生活に関する情報の入手手段として回答が多かったのは「テレビ」と「インターネット」で、いずれも回答者の約8割が選択をしました。

その他（31件）

| |
|-------------------------|
| 親戚・知人・友人など身の回りの人から（15件） |
| 広報紙など（8件） |
| スマホのアプリ・メールなど（6件） |
| 防災行政無線（1件） |
| 新聞（1件） |

Q 4 あなたが現在よく利用しているSNSを選んでください（3つまで回答）

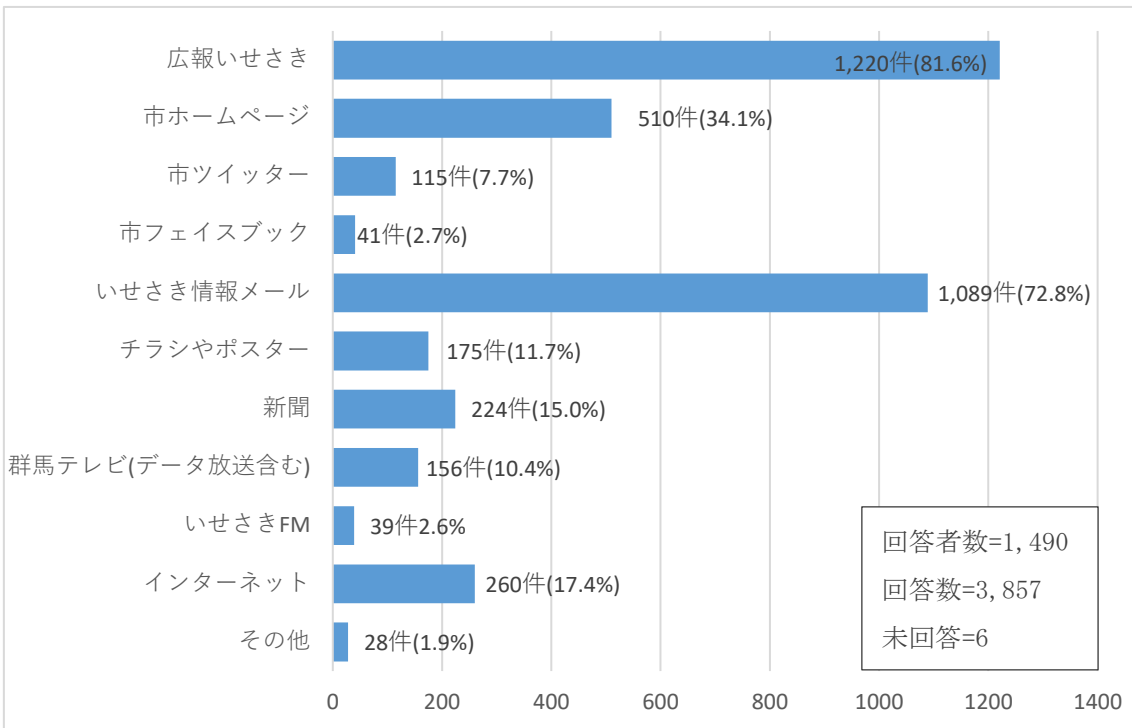


●よく利用するSNSとして最も多かったのは、「LINE」で回答者の79.9%が選択をしました。次いで多かったのは「YouTube」で回答者の47.7%が選択をしました。

その他（19件）

| |
|---------------------|
| TikTok（2件） |
| その他SNSに該当しない回答（17件） |

Q5 伊勢崎市からの情報（制度や施策、市のイベントや施設の利用など）や地域の情報を何から入手していますか（複数回答可）

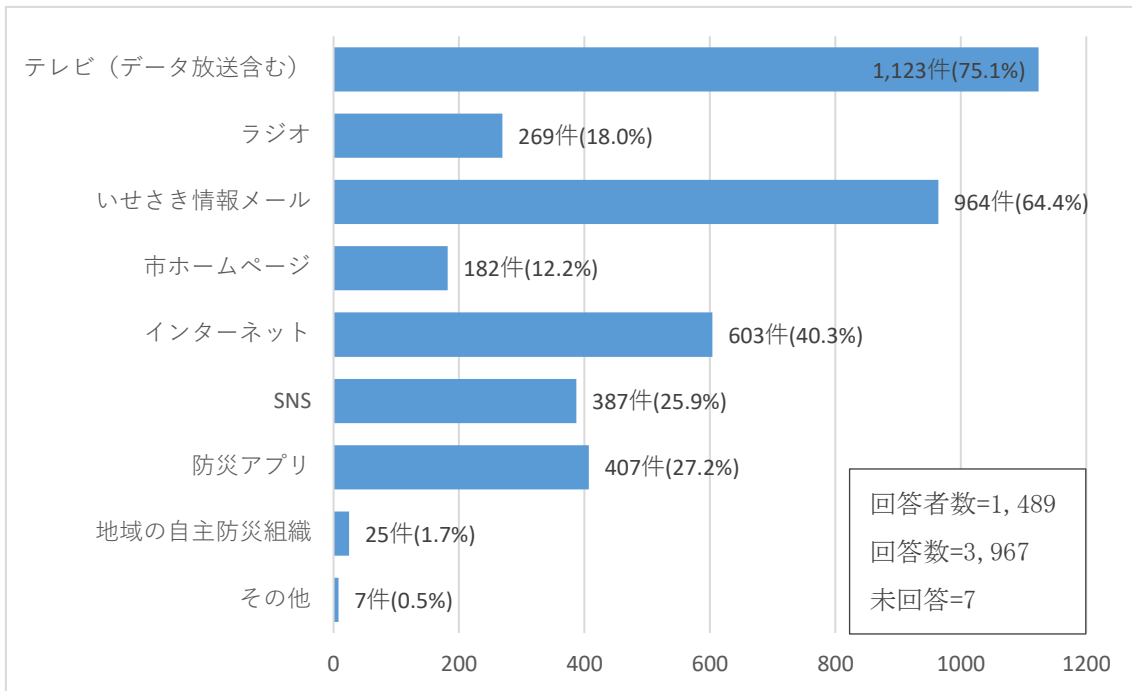


- 市からの情報の入手手段として最も多かったのは「広報いせさき」で回答者の81.6%が選択をしました。次いで多かったのは「いせさき情報メール」で回答者の72.8%が選択をしました。

その他（28件）

| |
|--|
| 親戚・知人・友人など身の回りの人から（6件） |
| Instagram・LINE・市公式以外のFacebookなど他のSNS（6件） |
| 公民館だよりや公民館内に掲示のポスターやチラシ（3件） |
| マチイロ（3件） |
| 回覧板（2件） |
| 専門家の相談など（1件） |
| 市の情報は回ってこない（1件） |
| その他（6件） |

Q 6 災害時の情報を主に何から入手していますか（複数回答可）

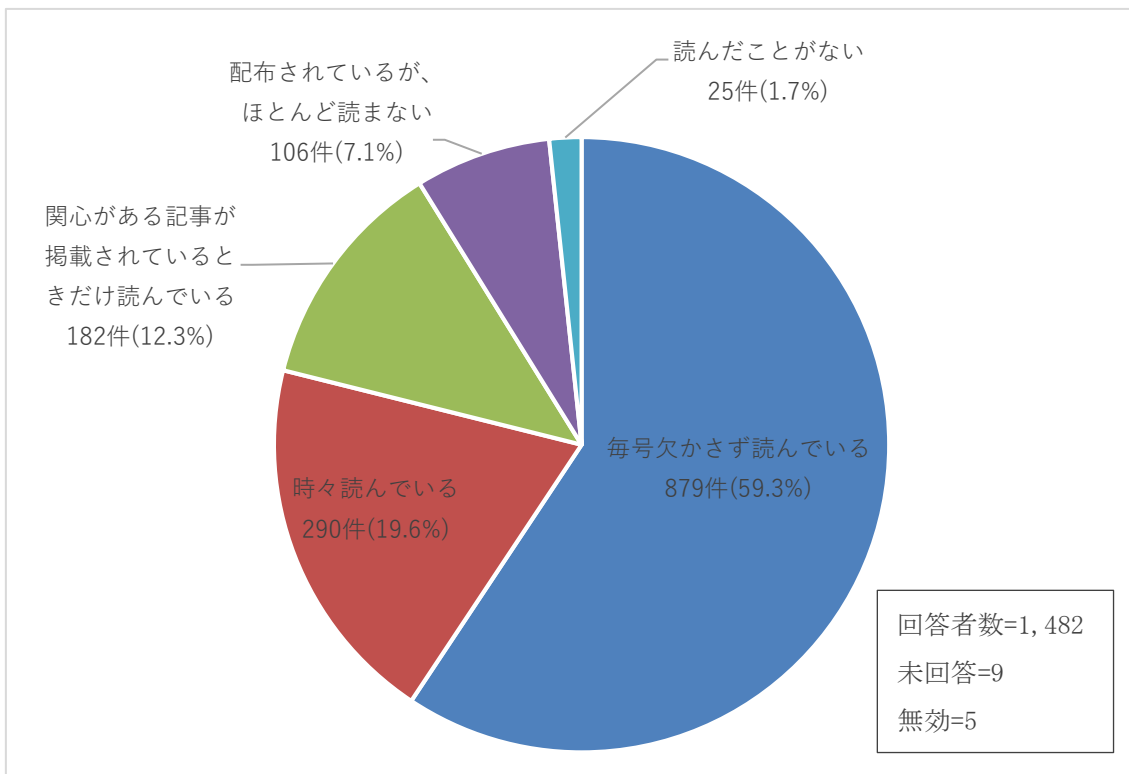


- 災害時の情報の入手手段として最も多かったのは「テレビ（データ放送含む）」で75.1%の人が選択をしました。次いで多かったのは「いせさき情報メール」で64.4%の人が選択をしました。

その他（7件）

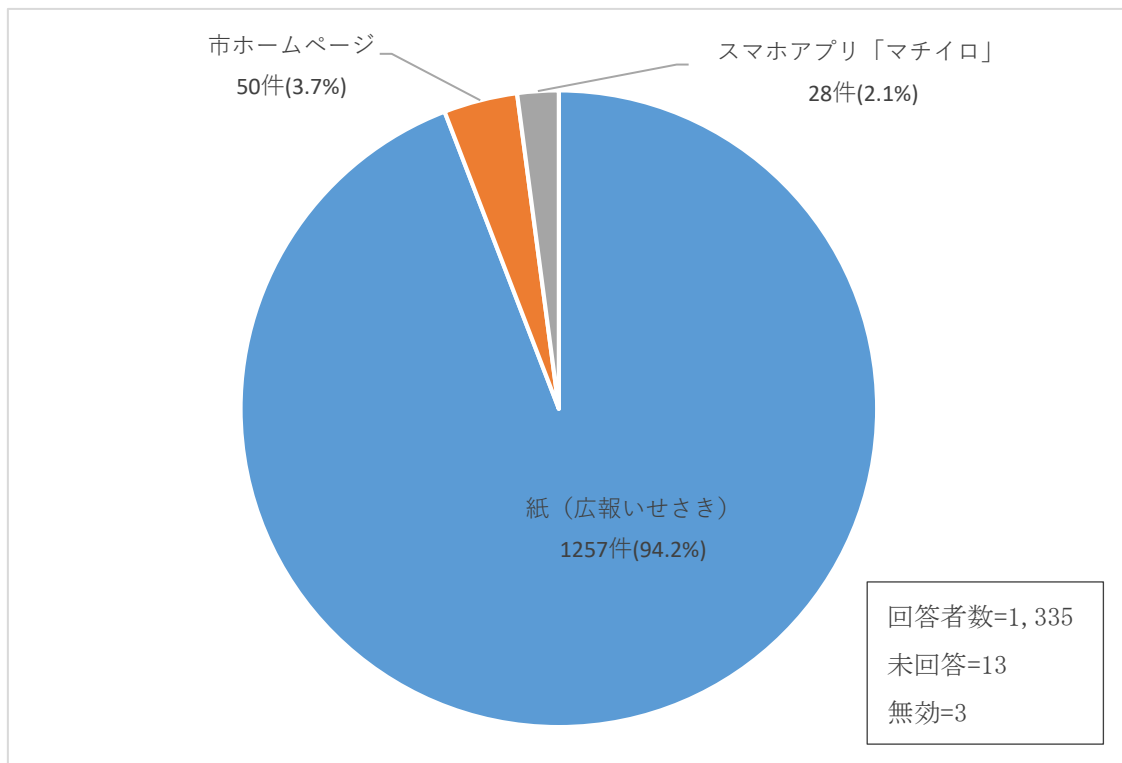
| |
|------------------------|
| 防災行政無線（2件） |
| 他の情報メールなど（2件） |
| 東京電力の停電情報（1件） |
| 親戚・知人・友人など身の回りの人から（1件） |
| ウェザーニュース（1件） |

Q7-1 広報いせさきをどのくらい読んでいますか（紙やホームページなどで）



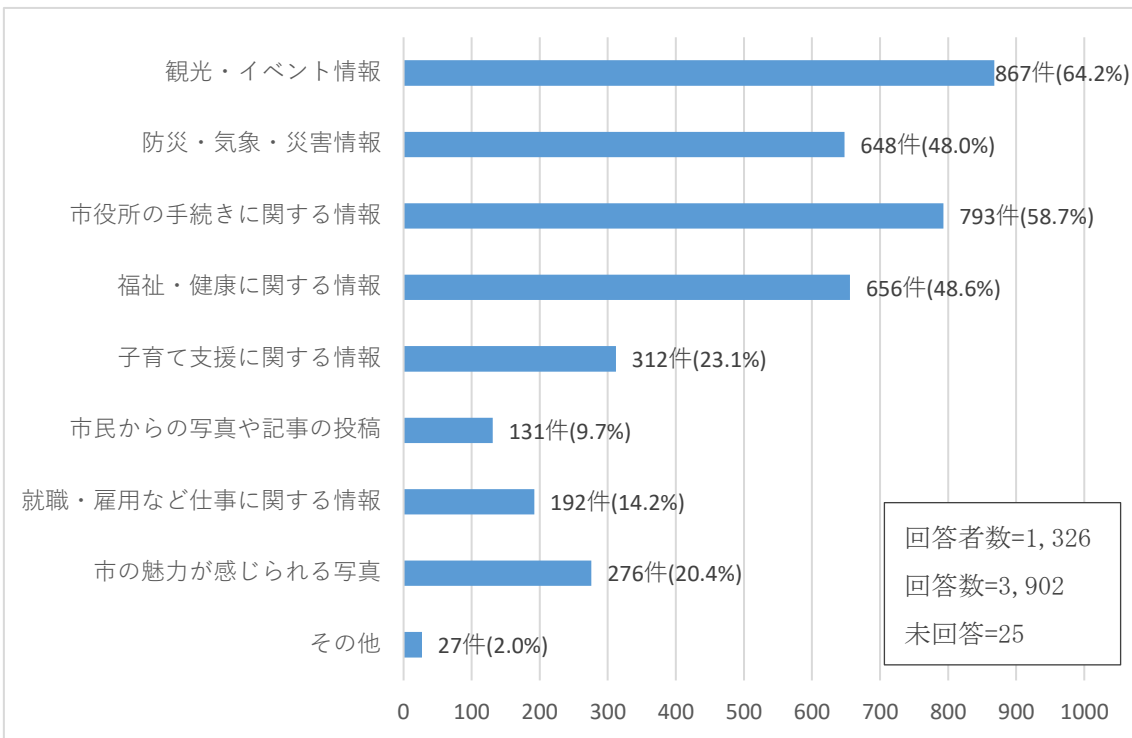
- 「毎号欠かさず読んでいる」と回答した人は59.3%、「時々読んでいる」と回答した人は19.6%、「関心がある記事が掲載されているときだけ読んでいる」と回答した人は12.3%でした。一方で「配布されているが、ほとんど読まない」「読んだことがない」と回答した人は合せて8.8%でした。

Q7-2 【1～3を選んだ方】広報いせさきを読むのに最も利用する媒体はどれですか



●広報いせさきを読む媒体としては「紙（広報いせさき）」が多く、全体の94.2%を占めました。

Q7-3 【1～3を選んだ方】広報いせさきでどのような内容を充実してほしいですか
(複数回答可)



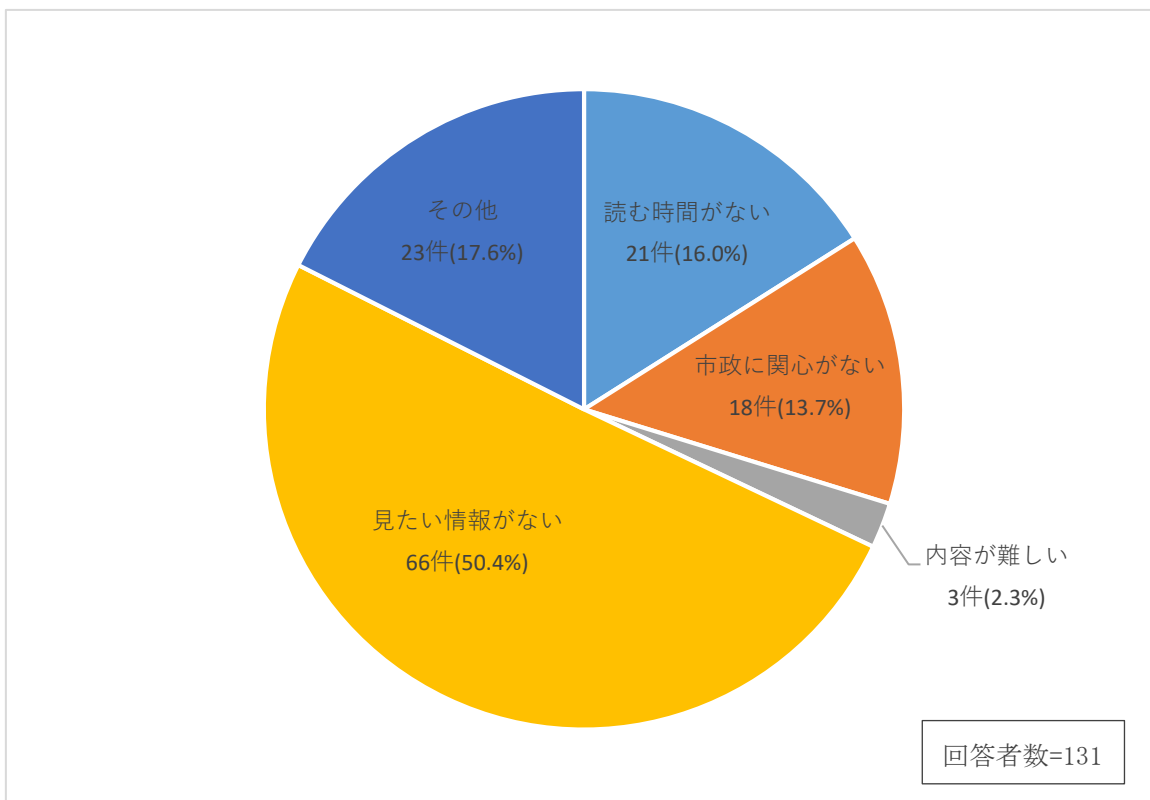
●広報いせさきで充実してほしい内容として最も多かったのは「観光・イベント情報」で64.2%、次いで「市役所の手続きに関する情報」が58.7%でした。

その他（27件）

| |
|----------------------------|
| 税金や補助金の話など（2件） |
| 交通弱者への情報や安全に関する情報など（2件） |
| 介護に関する情報やバリアフリー施設などの情報（2件） |
| 市や町の歴史 |
| 外国籍の人向けのごみの出し方など |
| 各種制度の紹介 |
| 市内の商業施設等休日過ごせる場所の紹介 |
| 市の新しい事業 |
| スタイリッシュにしてほしい |
| PTAなど活動への取材募集告知、子どもの習い事の情報 |
| 犬の散歩マナー |
| ボランティア募集 |

など計27件

Q7-4 【4・5を選んだ方】広報いせさきを読まない理由は何ですか

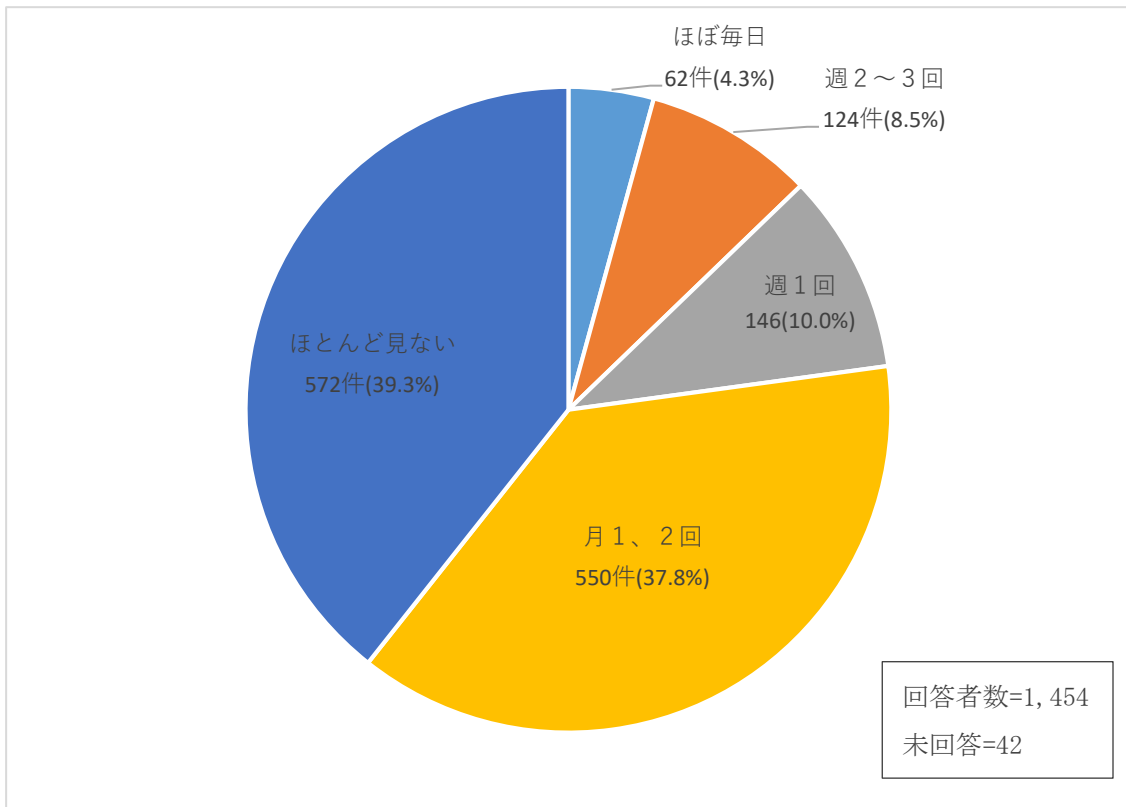


●広報いせさきを読まない理由として最も多かった回答は「見たい情報がない」で50.4%となりました。

その他（23件）

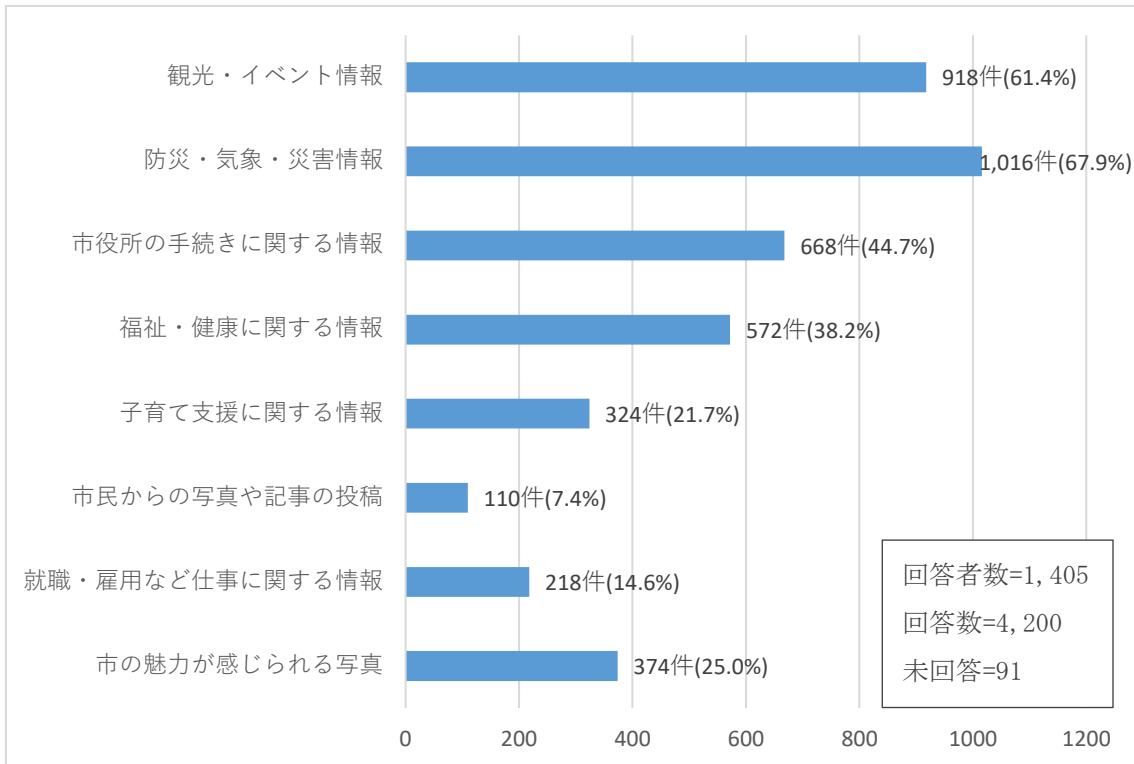
| |
|---|
| 配布されていない（11件） |
| 知りたい情報はインターネットで取得している（4件） |
| 同居者が管理・処分をしている（2件） |
| スマホの方が手軽に情報を取得できるため（1件） |
| 文字が小さくて読む気がしない（1件） |
| 読むのが面倒（1件） |
| 面白くない（1件） |
| 紙ではなくネットなら読みたい（1件） |
| 優先順位が高くないため、気が向いたら読む。丸まって届くため、読みにくい（1件） |

Q8 市ホームページをどのくらいの頻度で利用しますか



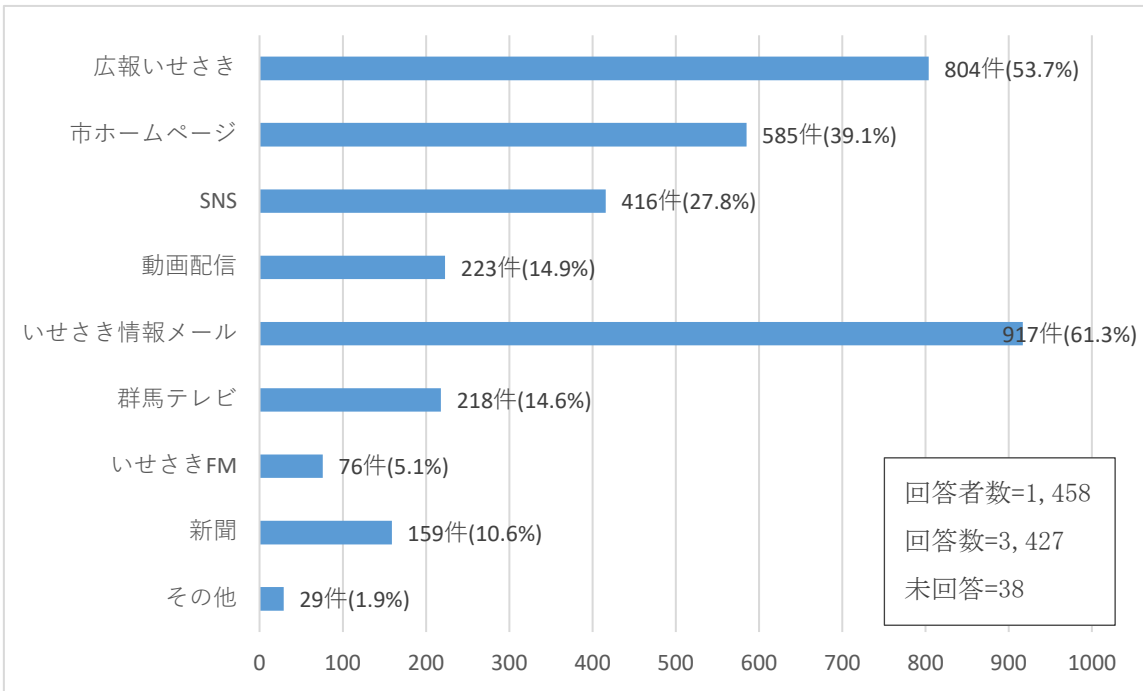
- 市ホームページの利用頻度について、最も回答が多かったのは「ほとんど見ない」で39.3%、次いで「月1、2回」が37.8%となりました。

Q9 SNSでどのような市政情報を発信してほしいですか（複数回答可）



● SNSで発信してほしい市政情報としてもっとも回答が多かったのは「防災・気象・災害情報」で67.9%でした。次いで多かったのは「観光・イベント情報」で61.4%でした。

Q10 今後、特に力を入れて発信してほしい、市政の情報発信手段はどれですか（あてはまるものをすべて）



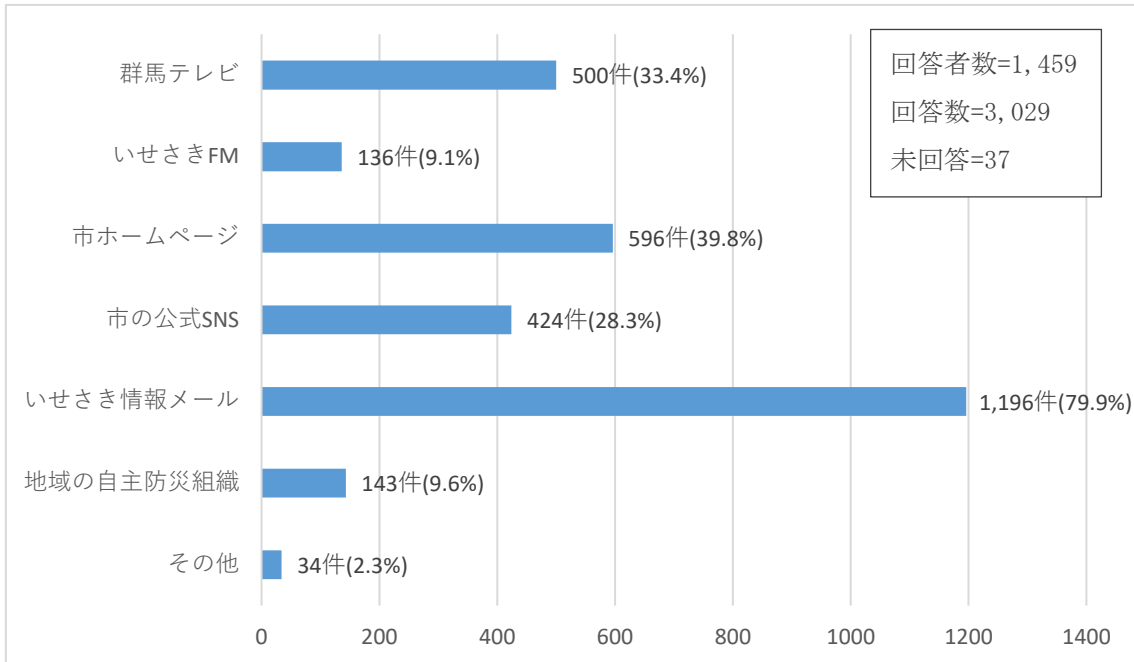
●今後力を入れてほしい市政の情報発信手段として最も回答が多かったのは「いせさき情報メール」で61.3%でした。次いで多かったのは「広報いせさき」で53.7%となりました。

その他（29件）

| |
|------------------|
| LINE（11件） |
| Instagram（3件） |
| 群馬テレビ（データ放送）（2件） |
| 防災行政無線の再整備（1件） |
| FMぐんま（1件） |
| TikTok（1件） |
| その他（10件） |

など計29件

Q 1 1 地域に密着した災害時の情報を入手する場合、今後あなたが利用したい手段は何ですか（あてはまるものをすべて）



●地域に密着した災害時の情報の入手手段として今後利用して手段については、最も多かったのは「いせさき情報メール」で79.9%となりました。次いで多かったのは「市ホームページ」で39.8%となりました。

その他（34件）

| |
|----------------------|
| LINE（7件） |
| NHK や民間放送の情報番組など（5件） |
| Instagram（3件） |
| 防災行政無線（3件） |
| 防災アプリなど（3件） |
| 県や国の防災情報（1件） |
| 現状のとおりで良い（1件） |
| ネットニュース（1件） |
| その他（10件） |

など計34件

【各項目に記述できなかった意見・記載されていた質問への回答以外の意見】

| |
|---|
| いせさき情報メールで題名を見た時に、雷や竜巻などすぐ分かるようにしてほしい。注意報の発表は文中に入れてほしい。開く前に何の注意報が分かるようにしてほしい |
| 防災無線を設置してほしい |
| Twitter アカウントを部署ごとか、災害・イベントなどジャンルごとに作成して欲しい。人によってどうでも良い情報が多すぎるため |
| あだち充記念館を作してほしい |
| 年記者や IT リテラシーの低い人を考えると、データ放送などの伝達手段も有効であると感じる。現状はデータが大枠で地域の詳細が分かるが良い。 |
| 伊勢崎市は特に進化していく市と感じられない。情報発信する内容があるか疑問を感じる |
| 伊勢崎市は母子家庭家庭には住みづらい |
| あずま地区は合併とともに防災無線がなくなり、防犯、災害、局地的なことに、不安な事がある。防災無線で夕方のチャイムくらいは鳴らしてほしい。 |
| 広報伊勢崎は希望者にはネット配信に変更したほうがよい。すぐゴミになる。紙の無駄使い |
| (広報紙は)月に1回でいい |
| (広報紙は)月に2回は多いと思う |
| (広報紙は)1回でも良いのでは |
| 月に2回の発行は多すぎる。内容も薄いのでここに税金をかけるなら違うところに使ってほしい。月に一度とかに減らしてほしい。 |
| 紙媒体を月一回でも良いのではないか。 |
| 70 歳以上にもホームページの見方教室があると良い |
| 紙ベースよりデータ配信時代だが、広報は紙ベースの方が近づけたりページを広げたりできて見やすい。ホームページにはなかなかいかないが、情報メールは必要であろう情報が適宜届きとてもありがたい。ラジオは聴かないし、群テレも観ない、YouTube を開いてみるほどのことでもないし、Facebook や Twitter はアカウントを持っていないとログインできないので物理的に見れない。やはり広報ないし情報メールという選択肢に落ち着く。もっとも、広報紙を見るのは高齢者で、若者は見ない。テレビやラジオ、YouTube は機会が無ければつけない。SNS はネットに弱い世代には扱えない。ログインするために新規登録をする手間が面倒くさい。そうすると見るにいたらない。それを網羅すると、やはり紙ベースか情報メールに落ち着く。紙ベースは、読んだ後捨てられてしまうので、費用を考えるともったいない気もするが、一度カラーにしてしまったらそれ以外は読む気にならないだろうし、あんなにしっかりした紙でなくても良い気もするし、個人的には好きであるが、今は学校もメール配信時代。となると、やはり、メール一択になるのかもしれない。 |